

HB通信

編集・発行 /
一般社団法人
ひょうご部落解放・人権研究所



〒 650-0003 神戸市中央区山本通 4-22-25 兵庫人権会館 2 階
TEL : 078-252-8280 FAX : 078-252-8281
e-mail : blrhgy@extra.ocn.ne.jp URL : <http://blrhgy.org/>

所長の諏訪山だより

夫婦同姓は日本の伝統か

NHK 連続テレビ小説「らんまん」では、6 月末に主人公である榎野万太郎が白梅堂という菓子屋の娘・西村寿恵子と結婚し、7 月の第 1 週から十徳長屋で新生活を始めた。このドラマのクレジットタイトルをみると、6 月までは「西村寿恵子」だったのが、7 月からは「榎野寿恵子」になっている。結婚して夫婦同姓になったのだ。

日本では、1870 年に名字（苗字）の使用が許可され、1875 年には名字の使用が義務化された。そして、結婚した場合、妻の名字は「所生ノ氏」を用いることという太政官指令が 1876 年に出された。所生とは生みの親であり、結婚しても夫婦は別姓にするという指令である。要するに、「日本の伝統」を踏襲するということである。

前近代社会では、源頼朝の妻が北条政子であったり、足利義政の妻が日野富子であったりと、名字を使用していた武士社会では、夫婦は別姓であった。赤穂藩家老の大石良雄（通称・内蔵助）の妻は、大石りくと呼ばれ、豊岡市には「大石りく生誕碑」があるが、りくは豊岡藩家老石束毎公の娘なので、結婚後も石束りくである。ただ、石束姓だとわかりにくいので、「大石りく」としているのであろう。現在のように、結婚後は夫婦同姓とすることが法律で決められたのは、民法が施行された 1898 年からで、それまでは前近代の武家社会と同様、日本では夫婦は別姓であった。

前置きが長くなってしまったが、ドラマの話に戻る。結婚して西村寿恵子が榎野寿恵子になったということは、二人が結婚したのは 1898 年以降だったのか。結婚後も万太郎が研究のために出入りしている大学の名称は「東京大学」で、「帝国大学」ではない。東京開成学校と東京医学校が合同して「東京大学」が誕生するのは 1877 年で、帝国大学令が公布され、名称が「帝国大学」に変更されるのが 1886 年である。ドラマでは「東京大学」と呼んでいるので、二人の結婚は 1877～86 年の間となり、まだ民法は施行されておらず、夫婦別姓の時代だった。

たしかに民法施行前であっても、妻が夫の姓に改姓するケースがあったようであるが、夫婦別姓の時代であるから、寿恵子が榎野姓になったのであれば、その説明を何らかの形で入れるべきである。時代考証をつけているのに、夫婦同姓が普遍的であるような誤解を生む設定は、おかしいのではないか。夫婦同姓が 125 年の歴史しかないという

事実を伏せるために、西村寿恵子を槇野寿恵子に改姓させたのではないかと、NHKの忖度を勘ぐってしまうのは、私だけであろうか。

所長 石元清英

人権啓発研究第44回兵庫県集会

■日 程：2023年10月28日（土）10:00～16:00

■参加方法：①兵庫県立のじぎく会館（定員250人） ②オンライン配信

⇒参加費：3,000円（学生・障害者1,500円）※討議資料・報告書を含む

③サテライト会場

⇒討議資料代：500円 ※報告書は含みません

■弁当代：1,000円（希望者） ※別途お申込が必要です。

■記念講演

「もう始まっている多民族・多文化共生社会 まっとうな移民政策を
～どうして奴隷労働と言われるのか外国人技能実習制度～」

講師：鳥井一平さん（特定非営利活動法人 移住者と連帯する全国
ネットワーク〔移住連〕代表理事）



■分科会 ※オンライン配信は第1分科会のみ

第1分科会 「ネット上の部落差別の現状とモニタリングの課題」

第2分科会 「人権教育の取り組み」

第3分科会 「平和と人権」

■申込方法：FAX又はWEBで申込。詳しくは、後日研究所HPに掲載いたします。

■申込締切：2023年10月23日（月）

■主催：人権啓発研究第44回兵庫県集会実行委員会

■問合せ：人権啓発研究第44回兵庫県集会実行委員会事務局（ひょうご部落解放・人権研究所）

〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-25 兵庫人権会館2階

電話：078-252-8280 FAX：078-252-8281 e-mail:blrhyg@extra.ocn.ne.jp

事務局から

- 梅雨が終わり、田の稲は穂が出てきています。これから稲刈りまで、水の管理に追われる毎日が始まります。9月に入ると新米が楽しみです（Ho）
- マスクをしている人が減りました。新型コロナが特に弱毒化したわけでもないのに、気にしなくていいような空気がただよっています。マスクをするのも外すのも空気なんです（ka）
- 各種講座や研究集会などの準備や運営に追われる日々。先日仕事帰りに空を見上げると久しぶりのお月様。そんな余裕もなくなりましたね…。今号は「本の紹介」コーナーをお休みします（H）
- コロナも暑さもひどい。各地で起こる自然災害の被害も年々大きくなります。猛暑の後はスズメバチの被害が増えるとか。いろんなことから身を守り日常を回していくのは本当に疲れますね（亀）